

農産物消費等に関するアンケート 結果報告書

【アンケートの目的】

市の農林水産業の将来像と戦略の基本方針を定めた「高島市農畜産業・水産業振興戦略プラン」の改定と、新たに策定する「有機農業実施計画」の検討に活用させていただくためにアンケートを実施しました。

【実施期間】

令和 7 年 8 月 28 日(木)から令和 7 年 9 月 12 日(金)まで

【アンケート協力依頼者】

802 人(メールで依頼:498 人、郵送で依頼:304 人)

【回答者数】

390 人(メール回答:265 人、郵送回答:125 人)

【回答率】 48.6%

【担当課】

農林水産部 農業政策課

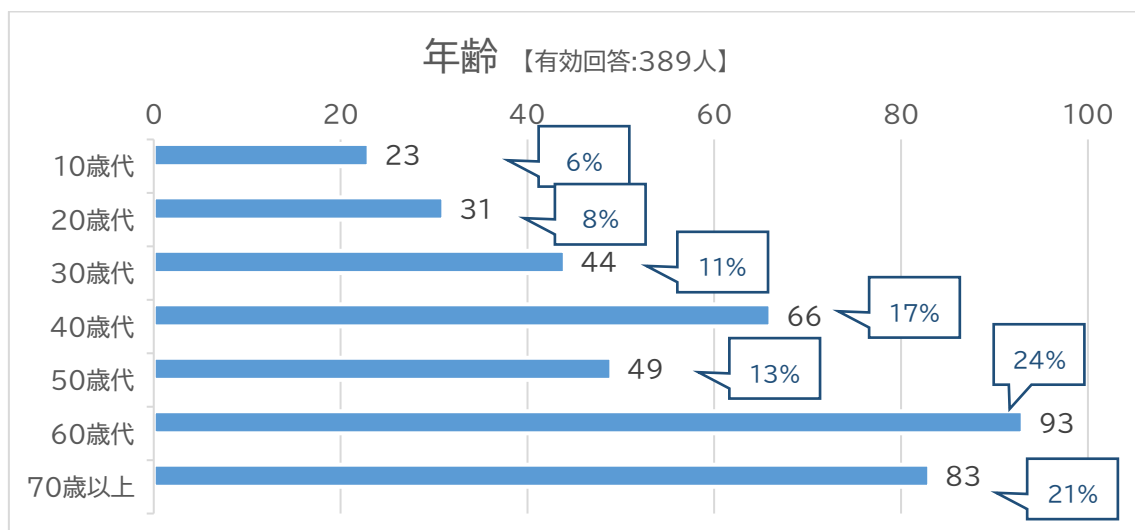
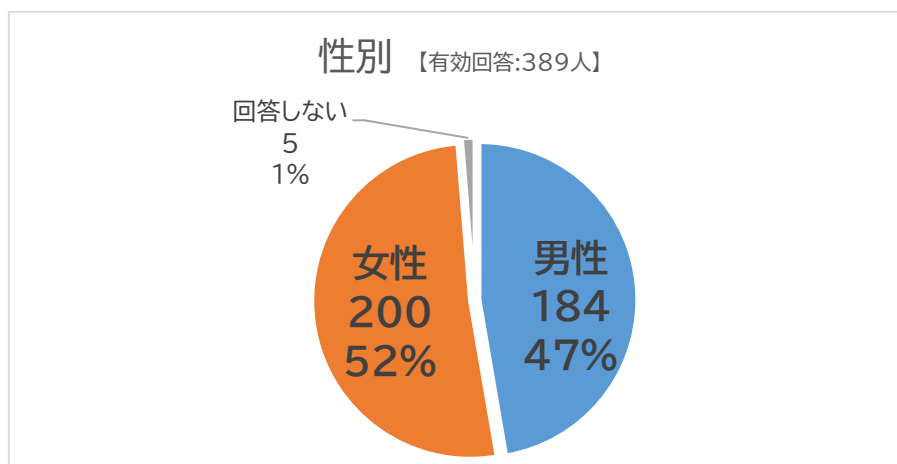
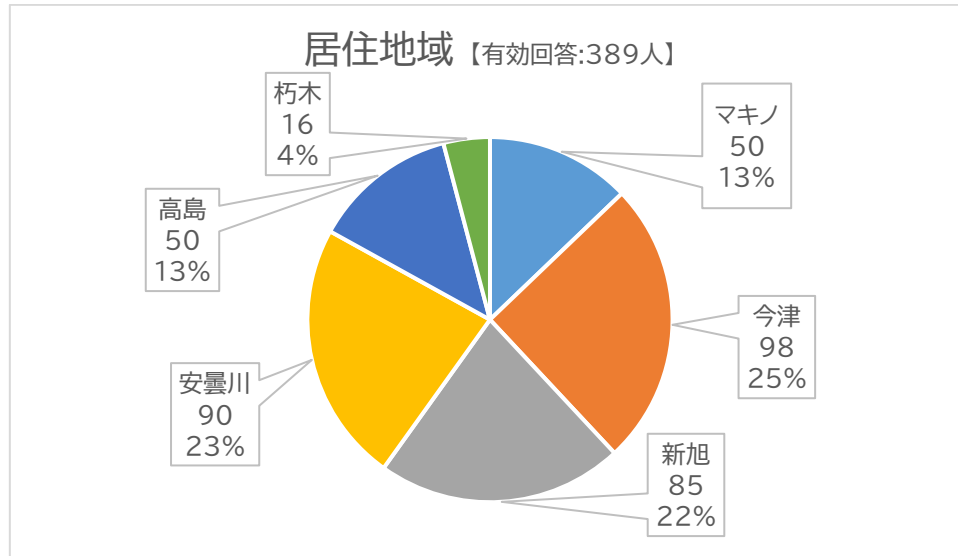
【調査結果の表示方法】

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第 1 位を四捨五入しており、内訳の合計が 100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、最大 3 つまで選択可能と示させていただきました。有効回答者数に対する回答数の比率で集計しており、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。
- ・自由記述欄の誤字脱字等は一部修正しています。

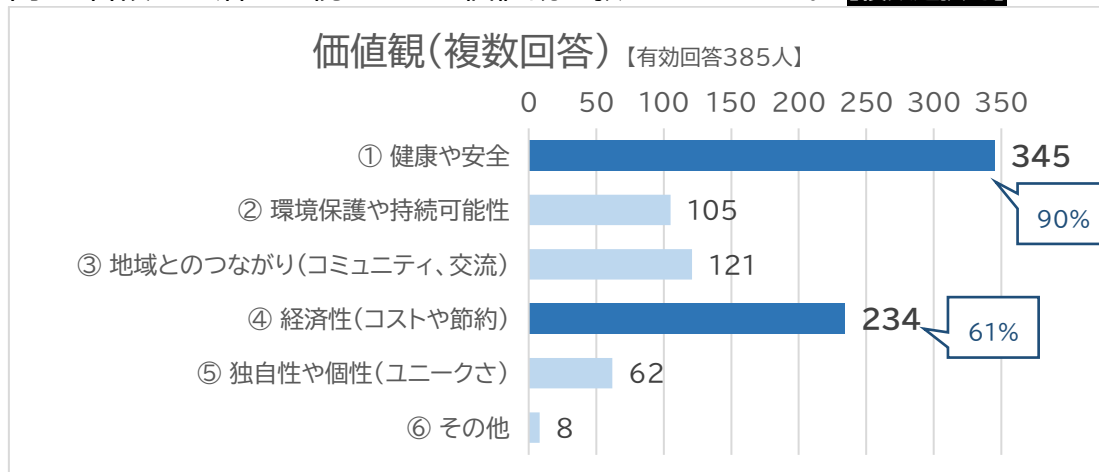
調査結果

※【複数選択可】の表示がある設問では、回答を最大3つまで選択可能としていました。

問1 あなたの居住地、性別、年齢を選択してください。



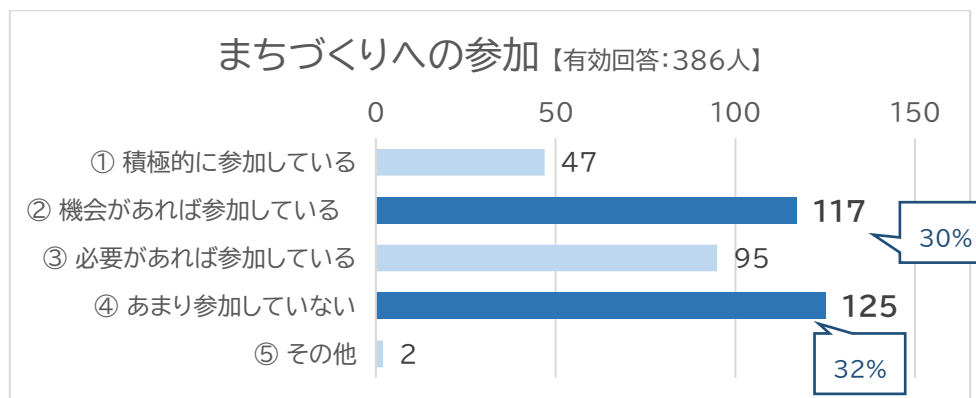
問2 普段の生活で重視している価値観を教えてください。【複数選択可】



⑥その他 の コメント

- ・ 仕事ができる環境(個人事業主、居住と仕事場が同一)。
- ・ 個人の充実。
- ・ お金をできるだけ地元で使う。
- ・ 仕事のやりがい、子どもへの愛情。
- ・ 交通アクセス、利便性。
- ・ 人と人との国際交流。
- ・ 生活のしやすさ(便利さ)。

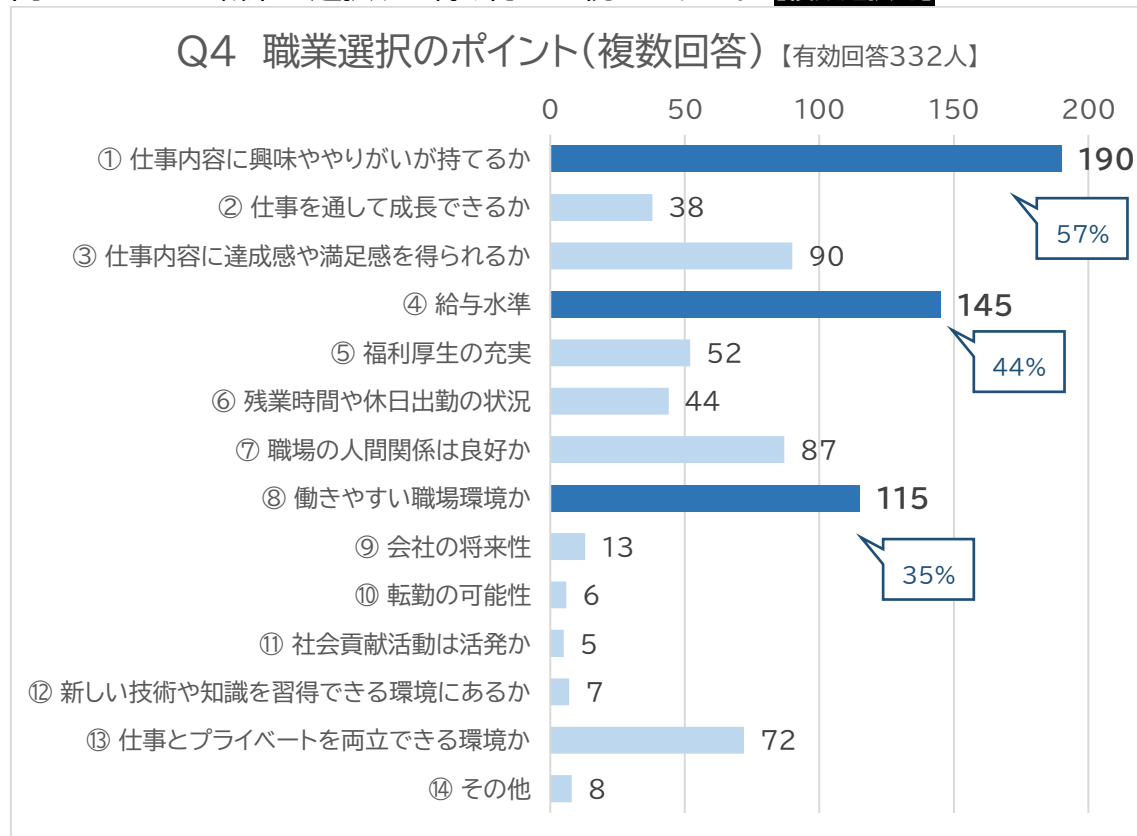
問3 あなたのまちづくりや地域事業への参加について教えてください。



⑤その他 の コメント

- ・ 上記についての情報や機会がない。
- ・ 職場での事業では参加することもある。

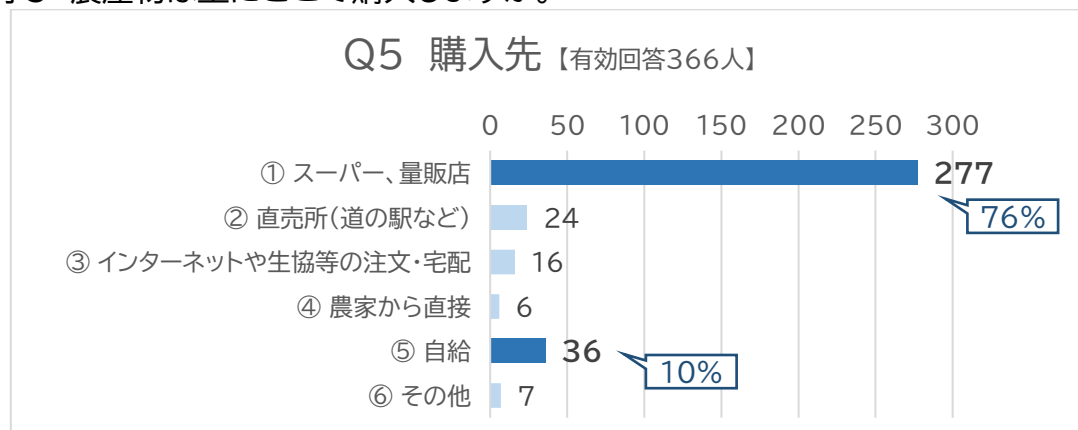
問4 あなたが職業を選択する際、何を重視しますか。【複数選択可】



⑭その他のコメント

- ・ 子育て中なので突然の早退や休みに対応してくれるか。
- ・ 子供が帰って来る時間まで。
- ・ 家からの近さ。

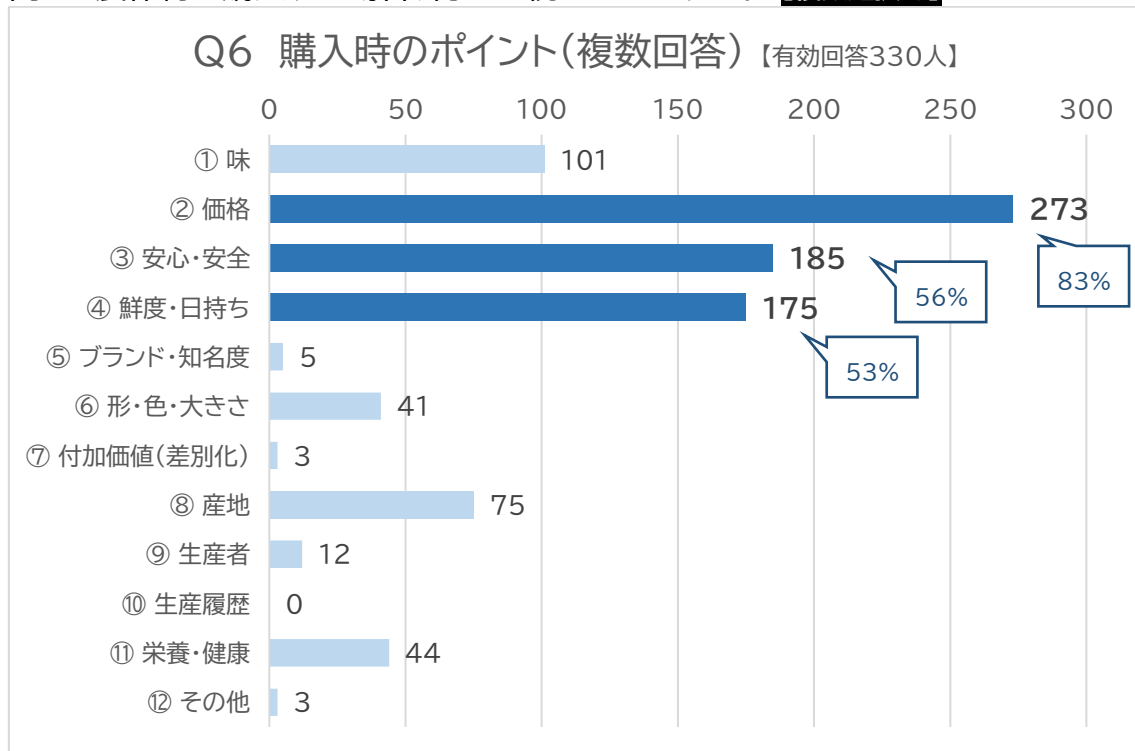
問5 農産物は主にどこで購入しますか。



⑤その他のコメント

- ・ 自分では買わない。(自炊していない)
- ・ 両親、近所の人や会社の人から貰う。
- ・ 市場で仕入れする。
- ・ 自分で作っている物以外はスーパーで購入しています。
- ・ 家庭菜園青空市場(週末のみ)。

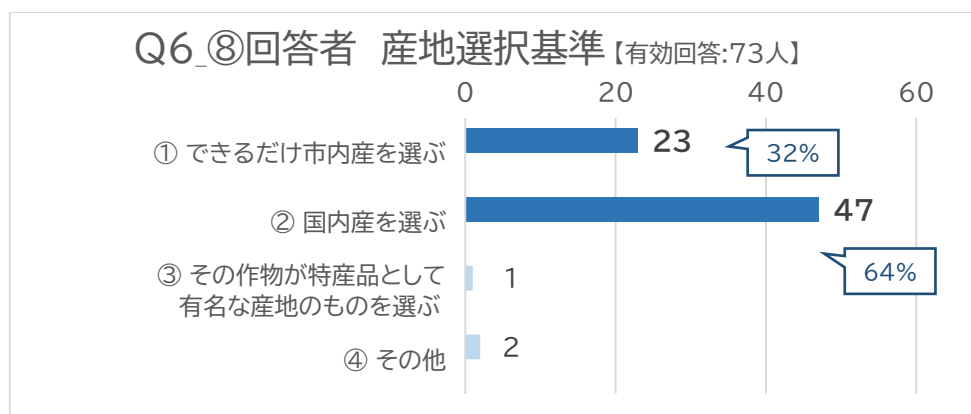
問 6 農作物を購入する場合、何を重視していますか。【複数選択可】



⑫その他の コメント

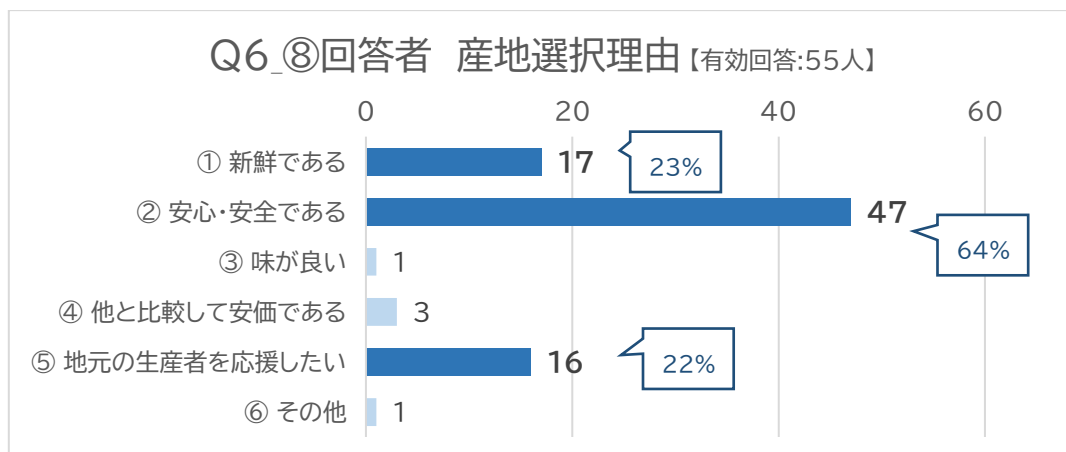
- ・ 特に気にしていない。
- ・ 自給のため選択できない。
- ・ 旬のもの、見切り品。
- ・ 出来るだけ無農薬野菜を育てて、食するようにしています。

⇒ 問 6 で⑧と回答した方に伺います。
産地選択の基準や理由は何ですか。



④その他の コメント

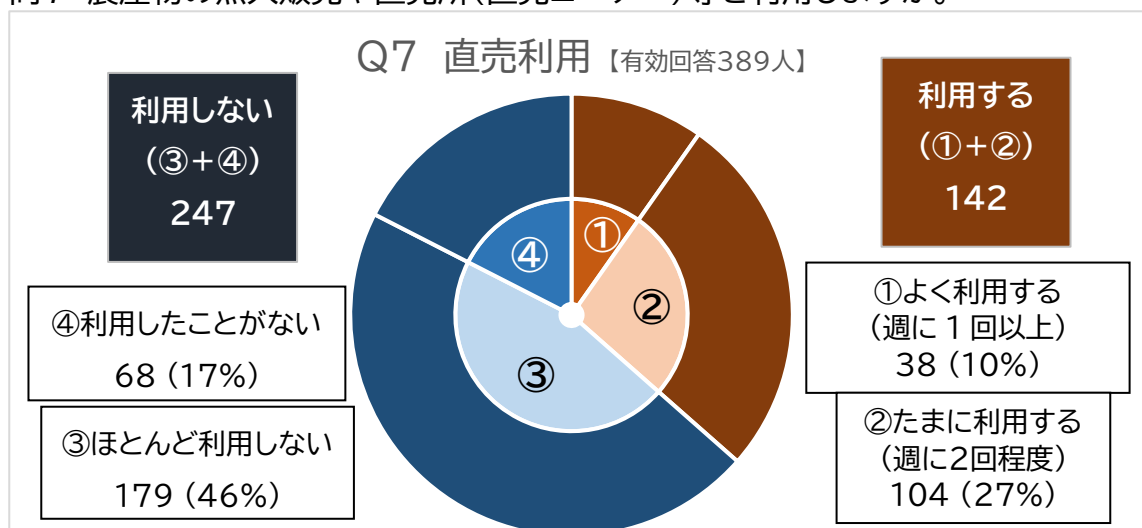
- ・ 関東 東北以外を選ぶ。
- ・ 中国産は避ける。



⑥その他の コメント

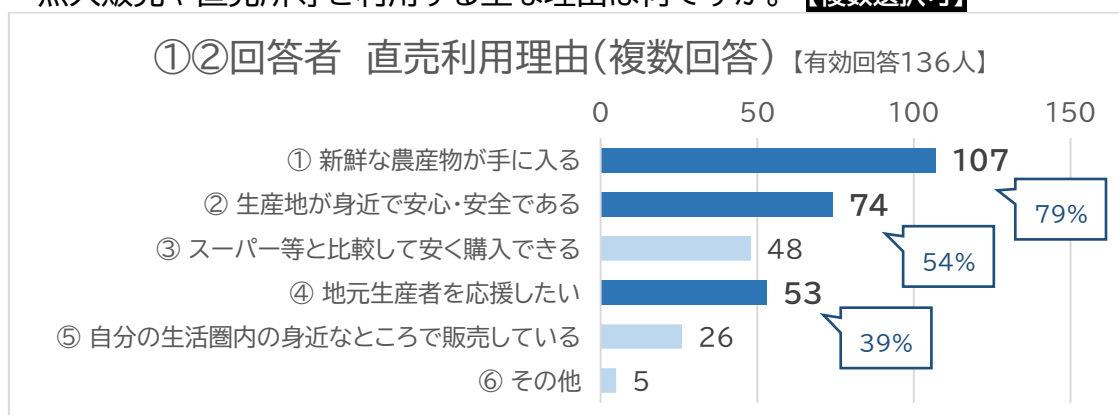
- ・ 地元のものをできるだけ買いたいの。

問7 農産物の無人販売や直売所(直売コーナー)等を利用しますか。



⇒問7で①、②と回答した方に伺います。

無人販売や直売所等を利用する主な理由は何ですか。【複数選択可】

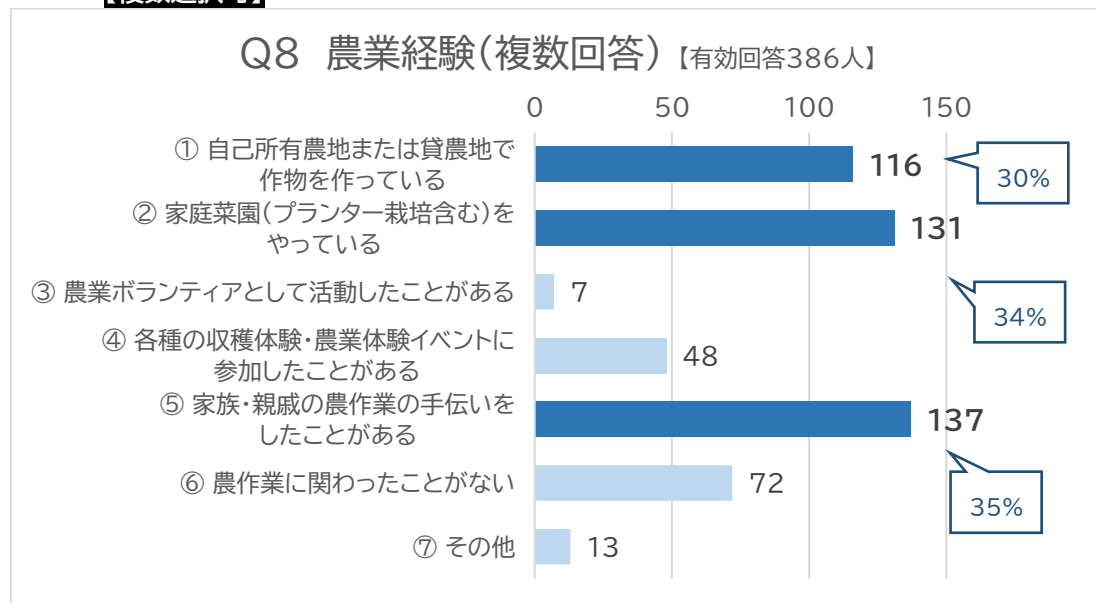


⑥その他の コメント

- ・ スーパー等の野菜、果物と違い、少量生産している農産物なので、肥料、農薬の使用が安心できるものである。
- ・ 輸送などにかかる二酸化炭素排出量が少ないから。

問 8 あなたはこれまでどのような農業(農作業)の経験がありますか。

【複数選択可】



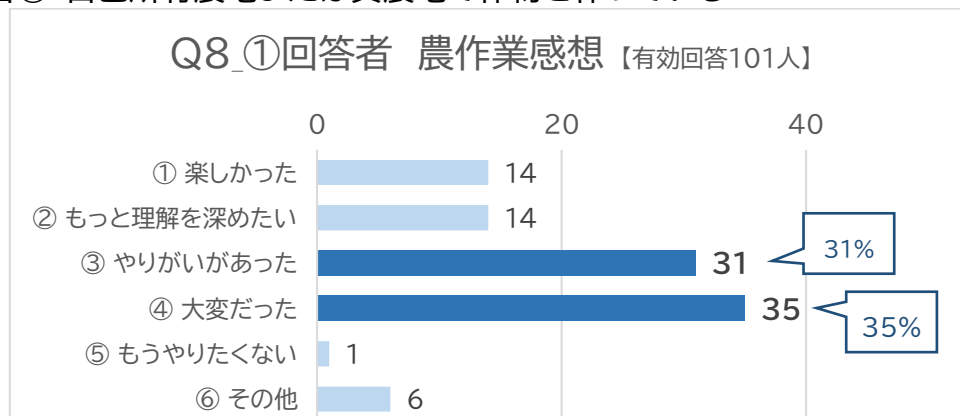
⑦その他のコメント

- ・ 水稻と自家用野菜を栽培していた。今はやっていない。
- ・ 学生時代に部活動として農作物を育てていた。

⇒ 問 8 で①～⑤と回答した方に伺います。

農業(農作業)に関わってどのような感想を持ちましたか。

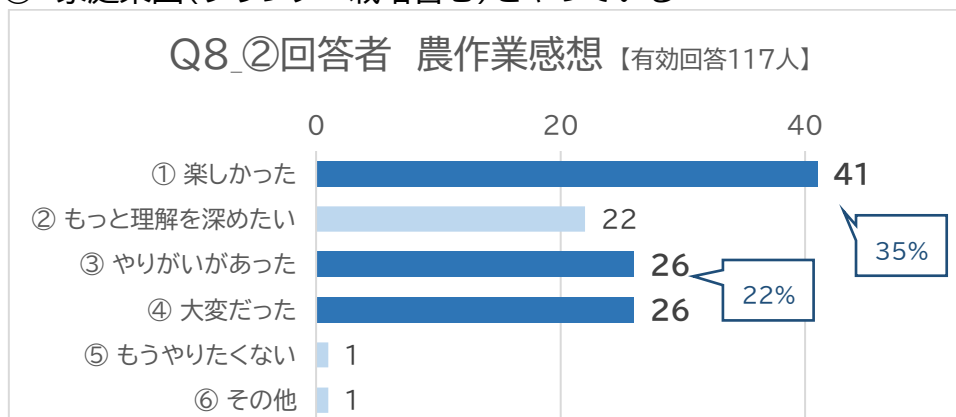
回答① 自己所有農地または貸農地で作物を作っている



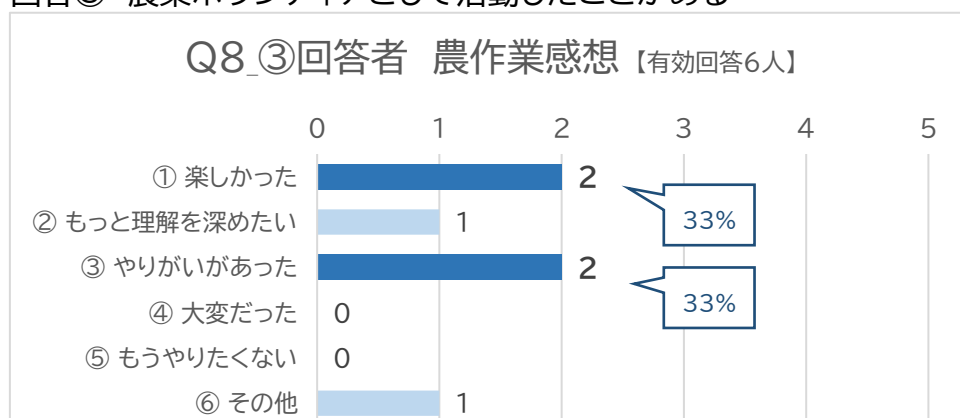
⑥その他のコメント

- ・ たまに手伝う分には良いが、自分主体や毎日は無理。仕事もあるので。
- ・ 農薬を使わないで、野菜を作る難しさを知る。
- ・ 害獣に荒らされ、退治に取り組んでほしい。
- ・ 正直やりたくないけど野菜が美味しすぎるから続けたい。
- ・ 自然相手の農業は難しいが、良いものが出来た時は嬉しい。
- ・ 大変な作業だが作物が育つのは嬉しい。

回答② 家庭菜園(プランター栽培含む)をやっている



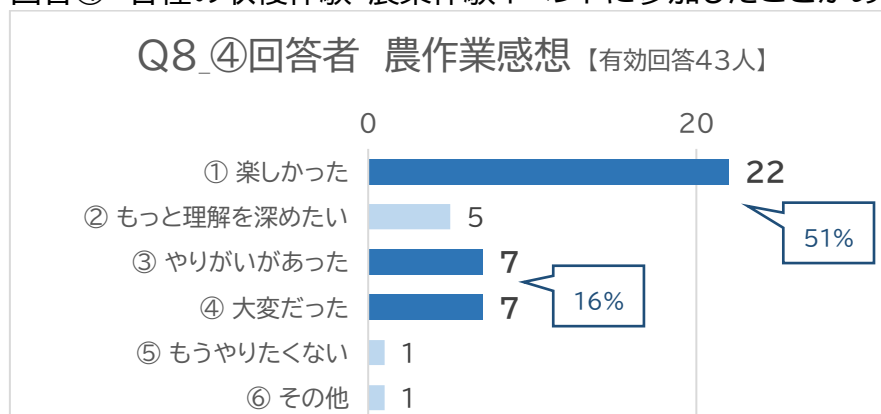
回答③ 農業ボランティアとして活動したことがある



⑥その他 の コメント

- ・ 楽しいし、もっと広めたい。 学生さんにももっと関わってほしい。

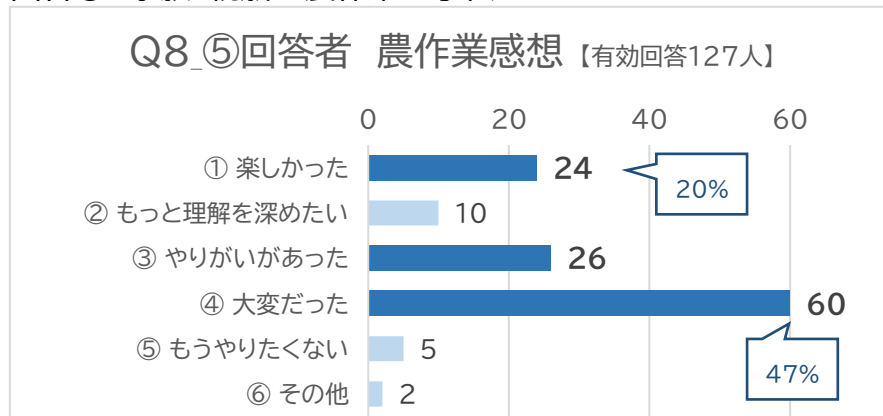
回答④ 各種の収穫体験・農業体験イベントに参加したことがある



⑥その他 の コメント

- ・ 収穫直前に猿に取られる。

回答⑤ 家族・親戚の農作業の手伝いをしたことがある

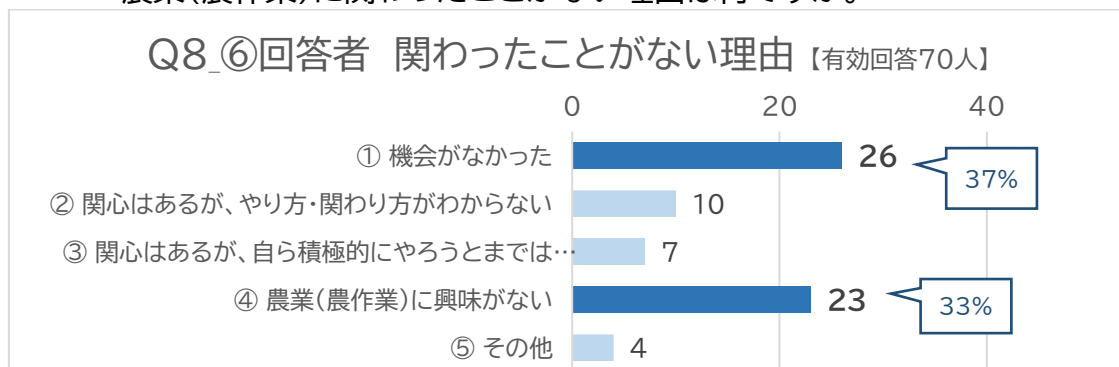


⑥その他 の コメント

- ・ たまに手伝う分には良いが、自分主体や毎日は無理。仕事もあるので。
- ・ これからもやっていきたい。

⇒ 問 8 で⑥と回答した方に伺います。

農業(農作業)に関わったことがない理由は何ですか。

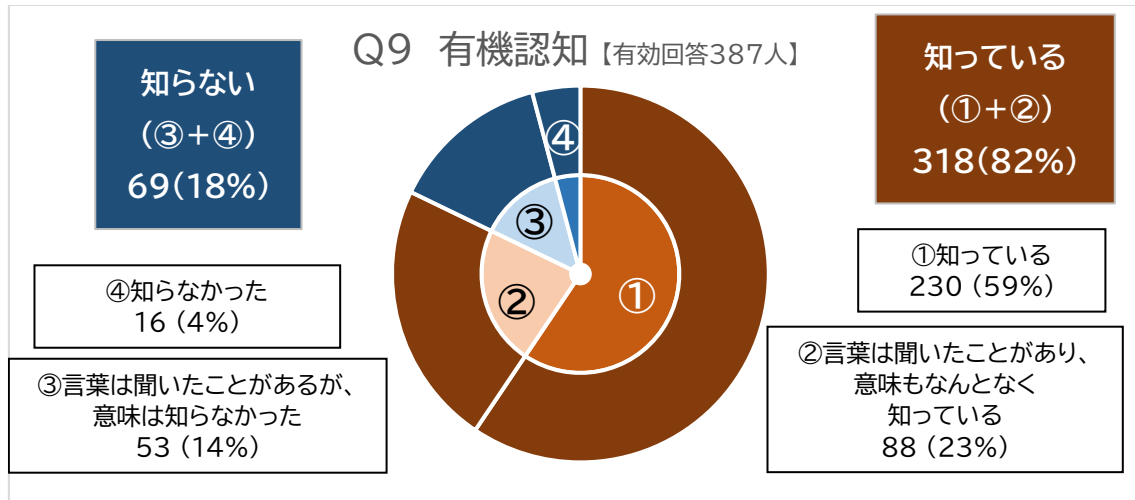


⑥その他 の コメント

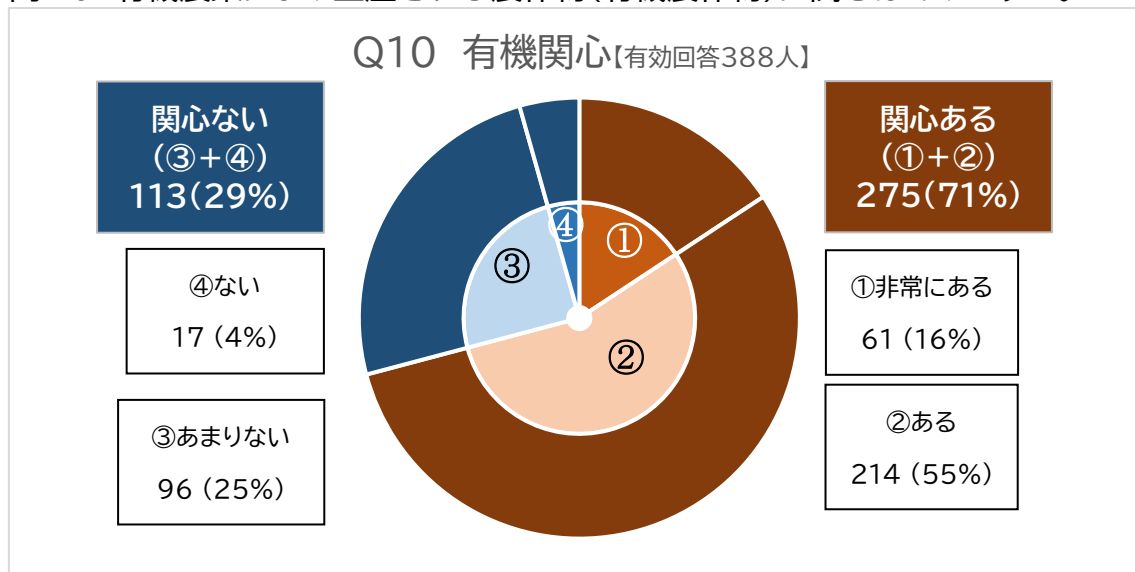
- ・ 場所がない。
- ・ 体験を楽しみにしていたがどこでできるか分からない。
- ・ 家内がプランターで作っている。私は興味がない。
- ・ 勤めが終わってからやってみたい。

問9 「有機農業」という言葉を知っていますか。

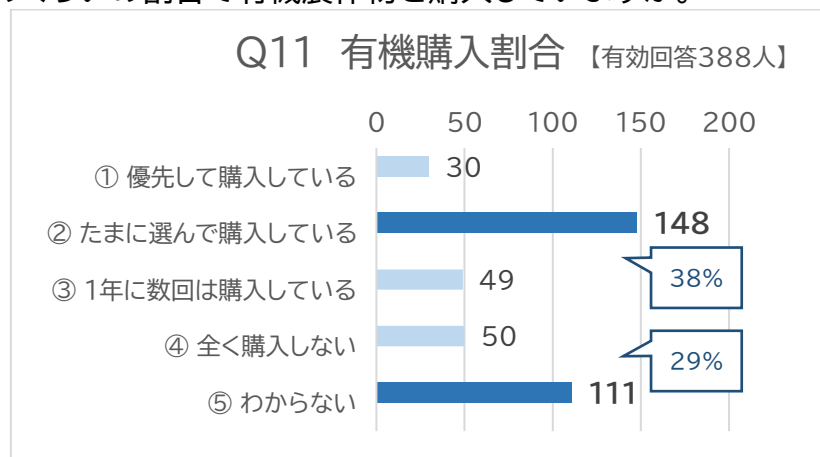
※化学的に合成された肥料や農薬を使用しない栽培方法



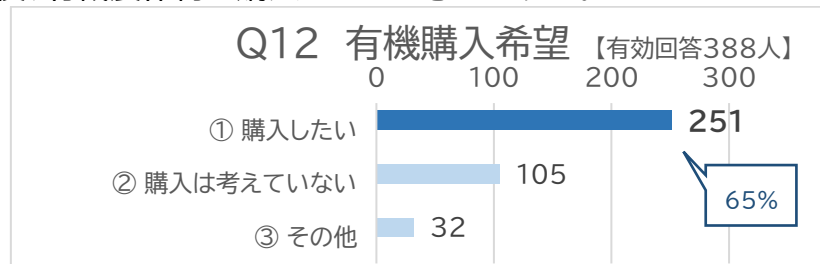
問10 有機農業により生産される農作物(有機農作物)に関心はありますか。



問11 どのくらいの割合で有機農作物を購入していますか。



問 12 今後、有機農作物を購入したいと思いますか。

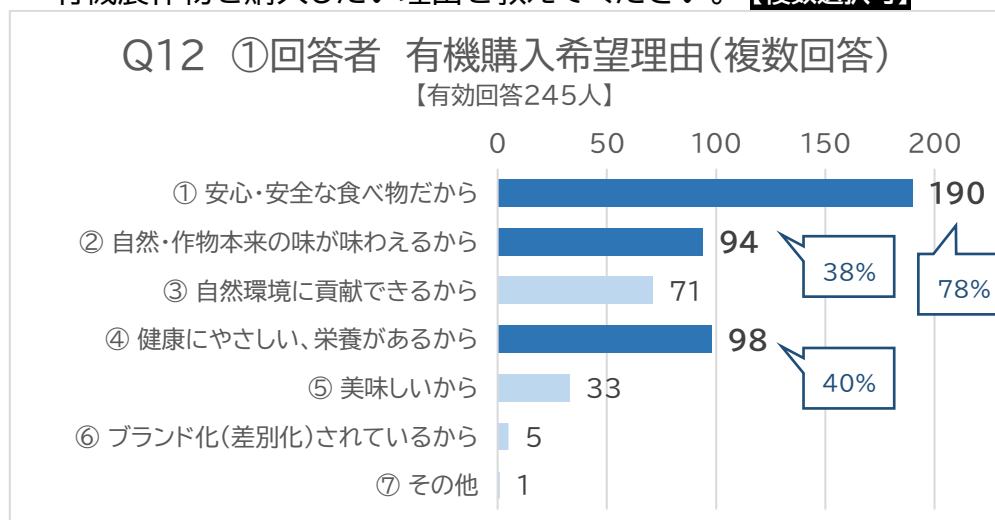


③その他の コメント

- ・ 価格との兼ね合い。
- ・ 値段しだい。高いものは買えない。
- ・ 品質の安全性が非常に高ければ購入をしようか検討をします。
- ・ 近くに販売所があり PR がされているなら、購入を考えてもよい。
- ・ どこで売っているのか、そもそも分からない。買う買わない以前の問題でつまづいている。
- ・ 興味があまりない。

⇒ 問 12 で①と回答した方に伺います。

有機農作物を購入したい理由を教えてください。【複数選択可】

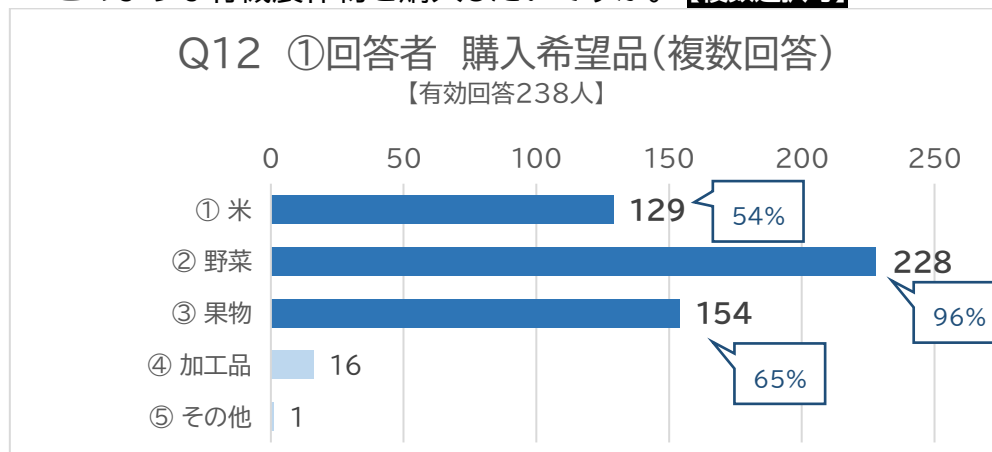


⑫その他の コメント

- ・ 余計なものが入っていないから。

⇒ 問 12 で①と回答した方に伺います。

どのような有機農作物を購入したいですか。【複数選択可】

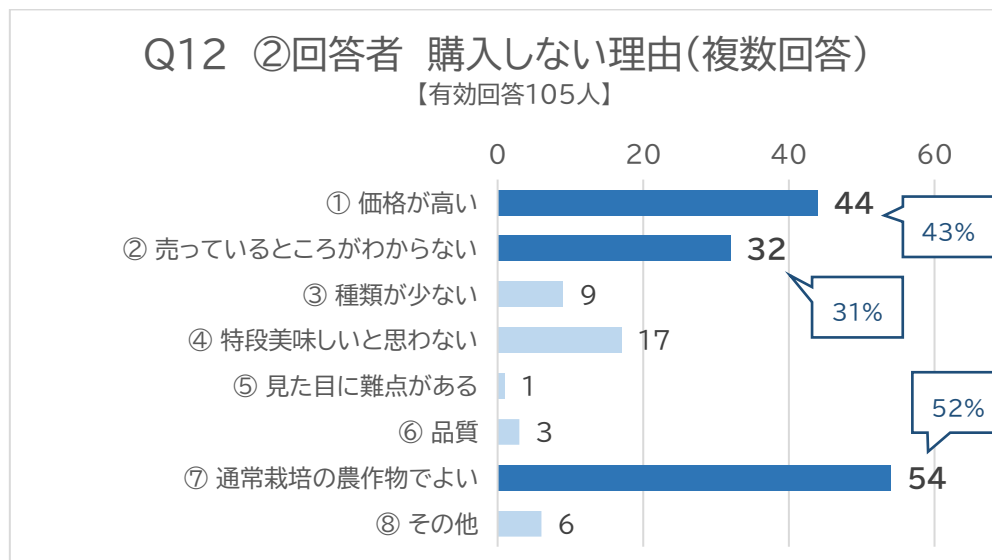


⑫その他 の コメント

- ・ お茶(よく飲むから)。

⇒ 問 12 で②と回答した方に伺います。

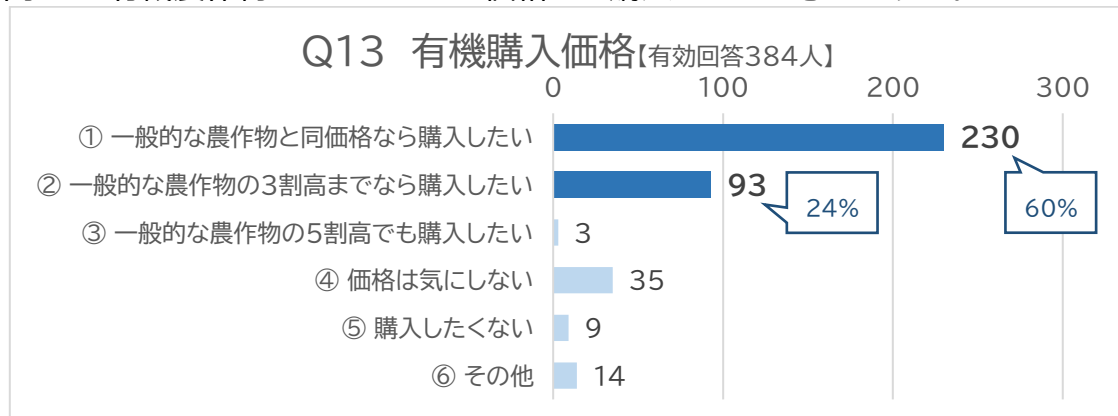
有機農作物の購入を考えていない理由を教えてください。【複数選択可】



⑧その他 の コメント

- ・ 祖父母が栽培しているから。
- ・ 化学肥料自体をさほど悪いものとは考えていないから。
- ・ 特に理由はないが、健康志向ではないので。
- ・ 有機農産物に興味が無い。
- ・ よくわかっていないから。

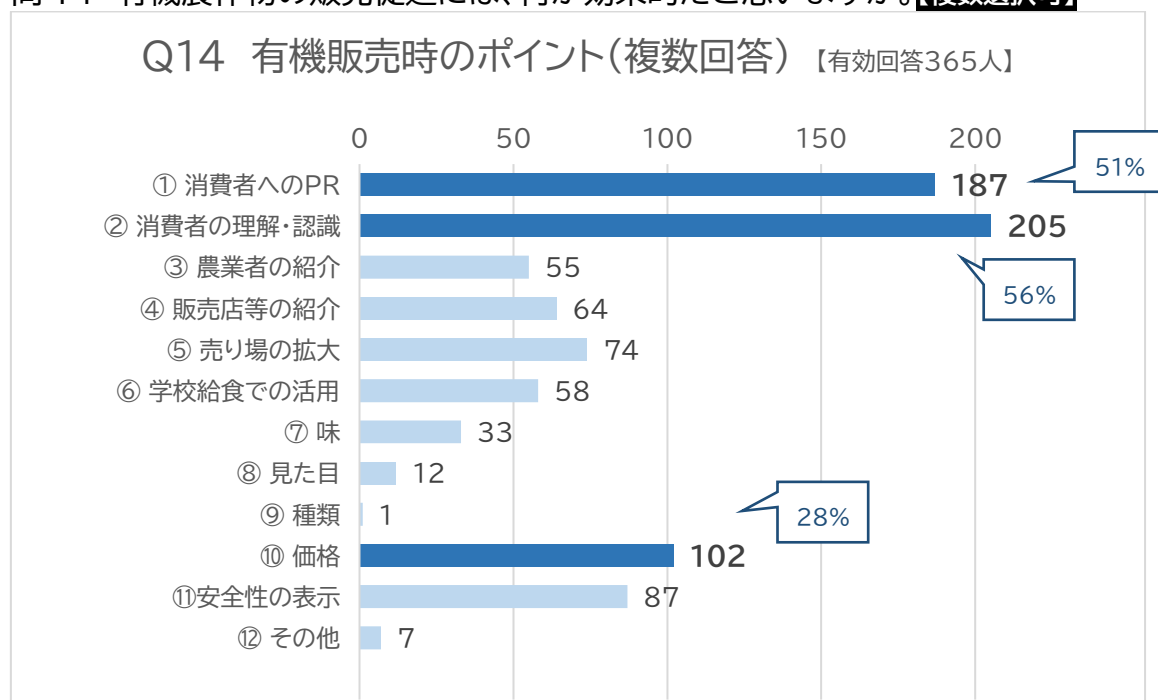
問 13 有機農作物をどのくらいの価格なら購入したいと思いますか。



⑥その他の コメント

- ・ 1～2 割高まで。
- ・ 商品によって、個別に判断する。
- ・ 海外で暮らしていて、海外はもっと濃い濃度の農薬が使われていることが多いことを知りました。日本の農薬は適正だと自分は考えているので日本産なら有機栽培を選ばないし、海外産でも日本に入ってくる農産物は安全だという認識でいますから、あまり有機栽培は気にしない考え方です。
- ・ どうしても価格は高くなってしまわないのでしょうか。考慮してしっかりとした対価が払われることで農業がもっとしやすくなると思います。
- ・ 有機農作物とか無農薬とか言っても、実際は日本では農薬に指定されていない海外の農薬を使用しているところもあるので信用できない。
- ・ 有機農作物がどういうものなのか分からない。
- ・ ほとんど購入したことがないのでわからない。

問 14 有機農作物の販売促進には、何が効果的だと思いますか。【複数選択可】



⑫その他 の コメント

- ・ 消費者に有機農作物を作ることのメリットとその大変さをしっかりと分かってもらえれば値段が高くて買ってくれる人はいるはずかなと思います。
- ・ 有機農作物を作る生産者への補助。
- ・ イベントを開催して知ってもらうこと。
- ・ ブランド力。

問 15 有機農業や有機農作物に関してのご意見をご記入ください。

113 件の意見や提案が寄せられました。
要約した内容については以下のとおりです。

【PR】

- ・ 作り方とか苦労されていること安全性の事をもっとアピールすることが大切だと思う。
- ・ 少し高くても、安心、安全だという PR や消費者への勉強会などがあればいいのかなと思います。
- ・ 食の安全性や、生産者の有機野菜へのこだわり等を消費者にアピールし、試食会をして消費者に納得して少し高くても購入応援して貰える機会を作ると良いと思います。
- ・ 人々に広まっていないため、まずは広めることから始めたほうがよいと考える。
- ・ 大変手間がかかるし、見栄えも少し悪くなると思います。味は良いし、健康に良いので、値段以外の付加価値を理解してもらえるように、PR に努めるべきだと思います。
- ・ 地元で出回ってるのかわからないので PR をもっとしてほしい。
- ・ 非農家にとっては、詳しいことや手間など余り知らない方が多いと思います。何となく良いもの程度の認識ではなかなか手が伸びないかも知れませんが、様々な場面で良さを分かりやすくアピールして理解を進めて頂きたい。
- ・ 有機農業、有機農作物という言葉をなんとなく聞いて知っているだけで他の事が全くわからないので(情報がはいってこない)買い物に行った時などにすぐ目につくように、情報が入るよう広く周知してほしい。
- ・ 有機農業・農作物とそうでない場合の違い(手間やかかる経費、作物の味や栄養価など)を詳しく知る機会がもっとあったら考えます。味や価格、環境配慮などの説得力が増して購入しやすくなるのではないのでしょうか。
- ・ 有機農業についての知識がないこともあり関心がないため、知ってもらう事が重要だと思う。

【安心・安全】

- ・ 科学肥料で作った作物に比べ、安心して食す事が出来る事。味も化学肥料と比べると美味しい。(特に根菜、大根、人参、ほうれん草等)

- ・なるべく安全で美味しいものが食べたいので生産性が少ないかも知れないが、頑張って作ってほしい。
- ・環境・体には良いと分かっていても、買う機会があまりない。物価もあがり余計購入できない。
- ・有機で使用されている肥料の安全性など、追及し出したら、きりが無いと知りました。本当に安全なものと、有機と記載する為にうまく生産されているものの見分けが難しいと思いました。なのでとりあえず、何にでも感謝して頂きたいと思っています。
- ・有機農作物は食の安全性の面からは大切である。有機農業は生産性が低い。市場に出回る農作物の規格から結果的に、外れてしまうこともある。一般的な農作物より割高になり、購入したくてもできない個人の経済状況もあるのではないかな。
- ・無農薬で自然にやさしい作物は、人のからだにもやさしいので、増えていくことを望みます。
- ・有機農業は大変だと思うが安全面等で安心できるので利用したい。

【価格】

- ・通常のものより少し高い程度であれば購入する人がもっと増える。
- ・体にいいものは定価よりちょい高なら、家族にも安心だし購入してみたいと思う。
- ・価格は高いが安全性に長けているというイメージ。市が農家を支援しながら積極的に有機農家を促進すべきだと思う。(主に経済的支援)
- ・安心安全な食品を使用したいと考えますが、有機農業の大変さ(作業が大変)などを考えると有機農業はむずかしく、価格も一般品に比べると高いのは当然の事と考えます。
- ・確かに化学薬品など一般的に危なそうと思われるイメージ性は払拭でき安全に感じますが実際は割高であり、気軽に手に取れる価格とは言い難い。
- ・有機農作物は、一般的なものより割高になるが、消費者のニーズに合えば、一般的な農作物と同様の価格なら、有機農作物が選ばれると思います。
- ・有機農作物はいいと思いますが、どうしても価格がネックになり自治体や企業の支援を得て公共施設(学校や市役所)や、企業の食堂で使用してはどうでしょうか。
- ・安心安全のために、身体に優しい有機農作物が望ましいと思いますが、割高になるので、最近の物価高の現状では、価格の安いものを選んでしまいがちになってしまいます。
- ・価格が高くなるのは仕方ないと思う。ただ、その価値を伝えないと伝わらない。シールを張るだけでは認知度は上がらない。また、物価高が続いているので、一般的に安いものを求めることは仕方がない。お金に余裕のある家庭や健康志向者に届けるようにした方が効果があるように思う。
- ・良い商品だと分かっているが、値段が高いので敬遠する。

【美味しい】

- ・大規模で生産するのは難しいので、少量を丁寧に生産するのが良い。食べ

た人がどんな野菜、果物でも、甘いと言う。これが有機農業の醍醐味。(実際に購入者から何度も聞いている。)

- ・ 見た目より味が大切と思うので、これからも美味しい農作物を生産してほしい。
- ・ 有機農作物は、大変だと思うが本来の味等が楽しめると思っている。

【健康】

- ・ 健康のためなら、食べるようにしたいが、値段が高いと購入を考えてしまう。
- ・ 健康のためにできるだけ摂取したい。
- ・ 健康に気をつけたい人には興味があるが、生活費が嵩むようでは今の社会の状況にそぐわない。市内消費よりも高くても有機農作物を手に入れたたい市外県外の人への発送に力を入れてはどうかと思う。給食での使用は栄養が流れ出る程洗うのであまり意味がないと思う。
- ・ 有機、オーガニックの食品に代えてから 健康になり薬があまり必要無くなってきましたし、体調が良くなりました。少しくらい高くても、それで健康になるなら、添加物や、農薬を使った安いものを食べるより医療費の節約になり、地域にも貢献できると思います。世間では高いと言われますが、医療費を節約した分、食費に使えます。オーガニックな野菜や果物は味がしっかりしていて、何よりも美味しいです。ただ、目に見えないので意識の向上は難しいのでしょうか。今までの道の駅の野菜は、農薬を使って昔ながらお年寄りの野菜が多かったのですが高齢になられ出荷野菜が少なくなったと聞いています。形は不揃いで当たり前、それが自然であることを謳い、これを機に意識の高い若い人達がオーガニック野菜を作って、副収入になるシステムを作してほしいです。ちなみにわたしはマキノで 3 軒のオーガニック野菜と四つ葉の宅配を買っています。
- ・ まずは体に安心、安全な食で健康な生活を保つこと。

【経営・栽培が難しい】

- ・ 100%有機や無農薬で大量栽培は現在の技術では厳しく、それだけで生計を維持するのはかなりの努力等が必要と思われます。
- ・ 自然環境の変化で有機農法は大変困難になっているのでは？と思っています。100%有機農作物はありがたい品ですが、産業にするには無理では？消費者の方は産業の姿、形にとらわれすぎの事実も反省が必要では。
- ・ 父が有機 JAS の検査員をしていて興味があるが生産が安定しない課題があるそうで、生産の安定化が必要と思う。
- ・ 有機がいいのはわかりますが、実際に農薬を使わないで栽培するのは本当に大変だと思います。雑草との戦いになりますのでどうしてもコストがかかると思います。これだけ暑いと路地栽培の限界もあります。いっそ大きな箱物を作って水耕栽培でいいのでは？と思います。
- ・ 有機農業は生産面で手間やコストがかかるイメージがある。近年異常気象や自然災害が多い中でコストのかかる農作物を作ることは生産者にとってリスクが高いことだと思う。
- ・ 有機農法で、お米を作っているところを知っているが、農場内の草との闘いや、肥料の高騰や、連続してその土地で有機農法で作らないと有機農業にな

らないなど、本当に大変そうでした。お米は、現在大変価格が高騰しており、おかしい状況にあります。土作りから違うとか、農薬を使っていない以外にも肥料も特別(有機)なものを使っているなどなんとなく知っているものの知らないことだらけです。有機農法を改めて、知らない人にも広めていくことで、良さが分かってもらえるのかもしれないと思います。

- ・できるだけ農薬を使わない方がいいと思いますが、虫などの被害にあうので、無農薬で作物を育てるのは、難しいのではないかと。
- ・手間がかかります。
- ・有機はとても大変。それでも志を持って作られている方がいる。買いたい、食べたいとは誰もが思っているが、いかにせん価格の問題がある。本当にこの世で有機農業を本気で後押しするのなら、行政が気合と予算、施策を策定、実行しなければ、その数(生産者)は増加しない。
- ・雑草対策が大変。堆肥作りが難しい。

【農薬】

- ・誰もが体にいい安心安全な農作物を希望しているのに、化学合成肥料・農薬、遺伝子組み換えなど、身体に取り入れたくないものを使用がされているものが多いため食の安全が脅かされているように思う。もっと規制を厳しくして、土壌の生態系を保全しながら持続可能な方法で生産された農産物がもっと当たり前に出回るような仕組みを構築して欲しい。
- ・特に気にしていないです。以下素人意見です。農薬を必要以上にばらまくのは良くないかも知れないけど、農家さんが必要だと思う範囲で使えば良いと思う。土壌に悪影響が残らない、作物に残留して人体に悪影響が出ないと信じているなら。(影響が出ているかどうか明確な証拠や研究結果を出すのに20年かかるとかなら、今さら気にしても遅いと思う。)農薬を一切使わないことにこだわって人件費がやたらとかかったり、虫に食べられて採れる量が減ったりした結果、価額が高騰するのは嫌だと思う。
- ・日本では違和感なく食べている形のそろった野菜も、外国では化学肥料をどれだけ使って作っているのかと疑問視されていたり、ヨーロッパのガイドブックには日本の野菜は農薬漬けなので気をつけるよう書かれていて、日本の農産物の安全性がとても低いことを知りました。当たり前になってしまった農薬、化学肥料漬けの農業から、もっと安心して食べられるものに戻していくことが必要と強く思います。自然栽培の農産物が当たり前になるようになっていくための支援に税金を投入してほしいです。
- ・農薬の利用が、一般のものとどれくらい少ないか、具体的に表示してほしい。
- ・本来農薬は適切に使用すれば人体への害はほとんどない。健康な人は有機農作物を積極的に選ぶ必要はない。農薬に対するアレルギーがあるなど、リスクが高い人に適切な価格で手に入るようになればよいと思う。
- ・有機農業や有機農作物等を安ければ買いたいが、育て、出荷するのにどうしても薬や肥料は必要になってくると思う。

【販売】

- ・積極的に販売して欲しい。

- ・ 直売所のアピールをし、同時に有機農産物を積極的にアナウンスすれば良いと思います。
- ・ 京都市に住んでいたときは有機農作物を扱う店や宅配サービスがあり、購入しやすかった。高島市に引っ越してから、加工品はオンラインで購入することもあるが、有機農作物を買うことが難しくなった。高島市でも購入できる場所があれば行きたい。
- ・ 市内産の品をスーパーなどでも大きく取り扱ってほしい。分けて販売するなどの差別化も必要。
- ・ 多くの客が集まり、且つ地元に根づいたスーパーや販売店にたくさん売ってくれるように働きかける。地元の農家を沢山集めて、有機農作物を効率よく大量生産できるようにする。
- ・ 有機農作物といえば直売店や道の駅のイメージがあります。スーパーではたまに見かける程度なので、売り場でアピールをしたほうが消費者に意識づけ出来るかなと思いました。
- ・ 有機農法を知らない人が世の中に多いと思う。当たり前に、平和堂などでも買えるようになってほしい。
- ・ 有機栽培農家でタッグを組んでネット販売などを展開してはどうか。規格外の農作物などをセットにしてレシピなどの付録を添付してもいい。また地元販売でも、買い物難民の人を対象にした販売ネットワークがあれば(高齢者対象の場合は電話注文制にするなど、ネットにこだわらない人海戦術ができれば)いいと思う。

【ブランド、信頼】

- ・ 米作で有機農法とうたっている農地を見ると、放置されていると同じように見えて、果たして色々の面で有用なのかを感じることもある。
- ・ 本当に有機かどうかの確証がない。消費者にとって有機の重要性が理解できない。確証のない有機野菜に対価を払うのは納得できない。農業者保護のあり方をもう一度考えるべき。
- ・ 無農薬と書かれているのは本当にそうなのか、不安です。
- ・ ほんとに有機栽培が怪しい場合がある。
- ・ 田舎よりも都市部や都心などでも注目され、富裕層などには注目されていますので、高島市としてブランディングをしてプロモーションも計画的にしていけばいいのではないかと。(都市部の人気のレストランとコラボするとか)

【関心を持った】

- ・ あまり関心を持ったことがありませんでした。これから少しでも勉強します。
- ・ アンケートに答えながら、有機農業等について、わかるようでわかっていないことに気付かされました。おそらくまだ味の違いを実感していないと思います。一方で農薬が気になります。農作物は虫との戦いと言ってもいいですね。有機農業や農作物の良さがわかるようなPRが必要かと思います。
- ・ メリットがどれだけあるのかを知りたい。
- ・ 有機農業、言葉すら知りませんでした。今後少しは学習して取り組みたいと思っています。

【普通との違い】

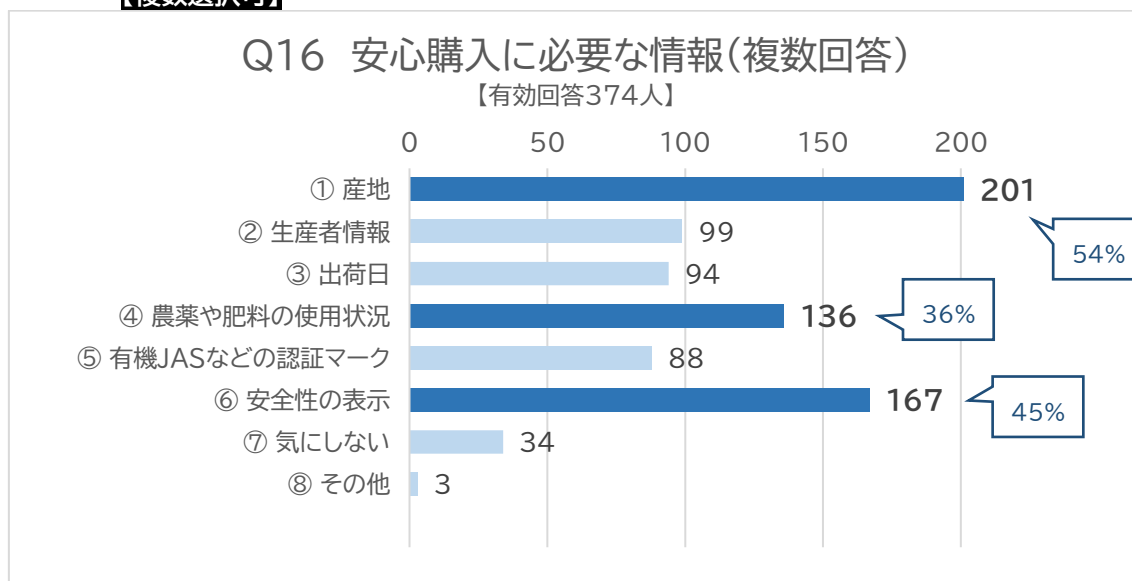
- ・ 普通との違いがわからない。
- ・ 有機農作物と一般農作物の味の違いがあまりわからない。
- ・ 有機農業と化学肥料(農薬)の作物の違いをPRしては。
- ・ そんなものより通常栽培のコスト面と作業面の改善や補助をすれば良い。
- ・ 畑をかりて家庭菜園レベルだが四季おりおりの野菜づくりを退職後している。高農薬栽培をと考えていたが、気候変動で、なかなか難しいと実感。科学的に合成された肥料で堆肥など有機物を活用した土づくりが大事だと思う。
- ・ 有機作物を作ってみて、いかに一般の野菜に農薬や肥料が使われて、見栄えの良いものにされているか分かりました。有機作物を作るには害虫対策、土作りなど手間がかかるので、人材確保やコストに見合う販売価格の転嫁をどうするかだと思います。

【他】

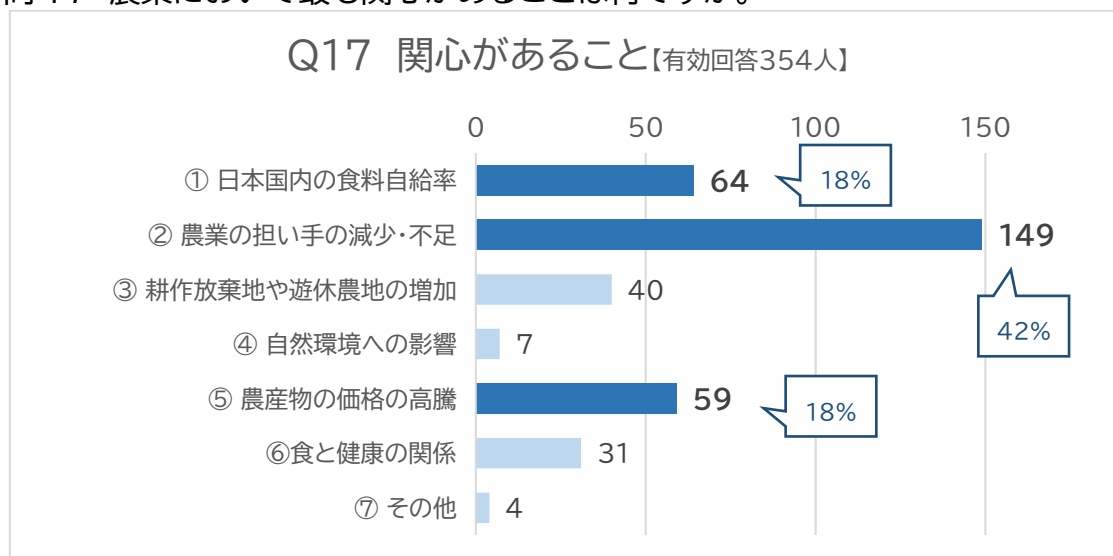
- ・ 勉強不足で詳しいことは分かりませんが、かつて昔は有機農業だったのが、生活の変化や環境により難しくなっていたということなんでしょうか。
- ・ もっともっと有機農業、作物を増やしてほしいです！
- ・ 見た目にこだわらずに購入します。
- ・ 自分の菜園でやりたい。
- ・ 自宅でも栽培しているが、食物のマイレージ等も考慮した上で食材選択したい。
- ・ 安定的な供給ができるかがポイント。総数が少ない気がします。
- ・ 有機農産物で少しくらい形が悪くても、小さくても良いので、売っていただけるとうれしいです。
- ・ 有意義とは思いますが、自分は積極的に買う予定はない。
- ・ あまり深く考えたことがない。
- ・ 押し付けられすぎても困る。自分の家で育てているものでも安心感はある。
- ・ あまり身近には、感じません。興味がある方は手にすることがあるでしょうけども、あまり言葉と意味が、浸透していない様に感じます。
- ・ ある程度の認知は広がっていると思います。美味しく財布に優しいものであれば、自然と広がるのでしょうか。
- ・ 結果的に土地を生かすので国、もしくは県や市などで一般的な農作物よりも生産する上でかかるコストを補助してはどうでしょうか。
- ・ 有機栽培と無農薬栽培の違いは何か。
- ・ 個々の問題だから理解、認識、販売促進等は難しく、食育にもっと力を入れて欲しい。価格云々を言う人には無理かな？
- ・ 色んな世代の方が農業に関わることで興味をもち盛んになるのではないかと思います。耕作放棄地を宅地などにするのではなく、しっかり利用してもらえるようにしていただきたいです。
- ・ 農業をやってみたい方はたくさんいます。アパート暮らしなど土地が無くてやれない方はたくさんいます。知り合いにもいます。
- ・ 有機栽培等は管理も大変なので、施設の提供とか講習会等を開催するなど市ぐるみで空地の活用を検討してくれると有難いです。

問 16 安心して農作物を購入するためにどのような情報を重視しますか。

【複数選択可】



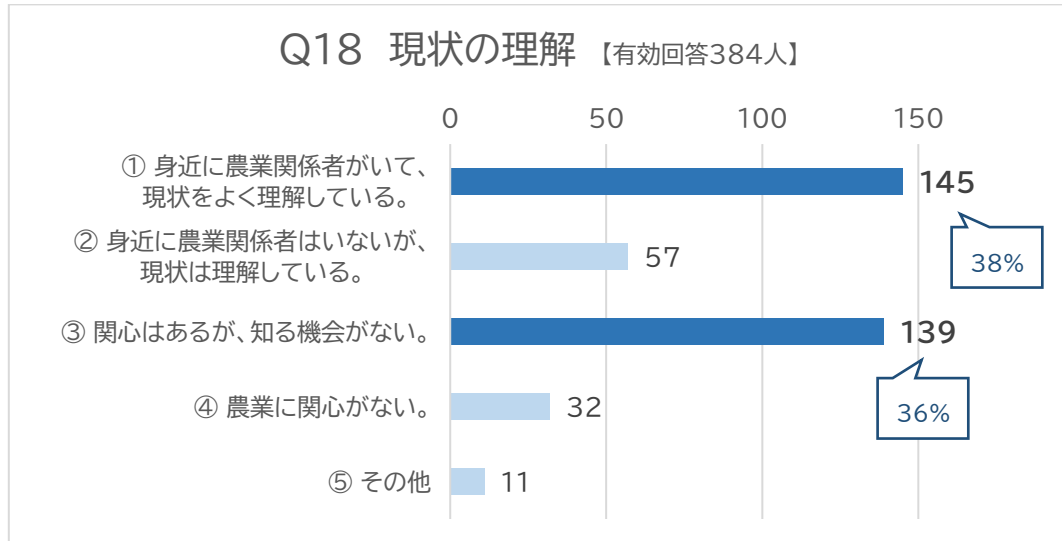
問 17 農業において最も関心があることは何ですか。



⑦その他の コメント

- ・ 人口減少とそれに付随する移民問題。
- ・ どのくらいイベントなどで興味を持たせてくれるか。
- ・ たくさんの方に関わってもらい農業ってこんな感じなのかと知ってもらうことが大事かと思います。

問 18 高島市での農業の現状について、自分にあてはまる項目はどれですか。



⑤その他の コメント

- ・ 身近に農業関係者がいて、ある程度理解している
- ・ 身近に農業関係者はいるが、現状をよく知らない。
- ・ 農業従事者。

問 19 あなたが思う高島市の農業の魅力・課題は何ですか。

高島市の農業の魅力

178 件の意見や提案が寄せられました。
要約した内容については以下のとおりです。

【水】

- ・ 水、土、空気の良さ。
- ・ 水が綺麗な場所で栽培されていることだと思います。
- ・ 綺麗な水、自然いっぱいの中で農業が行われていること。
- ・ 山の水(雪解け水)と綺麗な空気の中で作る米は、市外県外の方に味が良いと好評。
- ・ 美味しい水と空気で育まれた多彩な農作物はとても美味しいと思う。
- ・ きれいな水が流れ、お米がおいしい。道の駅で高島産がたくさん売っている。
- ・ 特に水がきれいで、以前大阪に住んでいた時の水に比べるとおいしさも判ります。それに米がおいしいです。
- ・ 山が近く、水が冷たくてきれい。米をはじめ農産物が美味しい。
- ・ 水が冷たく、おいしい作物ができる。
- ・ 水などの自然環境が良い。土は石が多く、あまり肥沃ではない。
- ・ 水が豊富であるところ。生産者が身近で顔がみえるところ。
- ・ 豊かで綺麗な水、広い農耕地、美味しい食べ物ができる条件が揃っていると思います。
- ・ 山と琵琶湖に囲まれた水源の豊かさ。

- ・ 水資源が豊富で渇水等の心配が少ない。
- ・ よい水質の水に恵まれている。

【農地】

- ・ 土地が広く環境に恵まれている。
- ・ 広大な敷地がある。
- ・ たくさんの田畑があること。
- ・ まだ田んぼが多い。
- ・ 農地が安いので、意欲があれば生産拡大しやすい。
- ・ 山地からの良質な土壌と豊富な水源による安定した農地環境。
- ・ 豊かな土地と水など、環境が揃っているところ。
- ・ 土壌がいいとおじいちゃんと言っていました。

【自然】

- ・ 自然豊かな大地で育てられた安全、安心な農作物の生産地であること。
- ・ 自然の豊かさとそれをアピールした観光農園の推進。
- ・ 自然豊かで空気、水がうまい所で育ったものはおいしい。
- ・ 豊かな自然、景色の中で農業ができる。
- ・ 自然環境、農地の土壌、農業用水がすばらしく農業に適している。
- ・ 大自然に恵まれ、水も空気もすばらしい環境下での農業は、どこの地域にも負けない日本一のものと思う。
- ・ 自然豊かな環境、きれいな水、広大な土地。
- ・ 豊かな自然環境を活かせるところ。若手の農家さんが有機栽培に取り組まれており、もっと広がっていく可能性があるのではと思えるところ。
- ・ 自然には恵まれ、他市町からの旅行者に農業(農作業体験など)をしてもらえる取り組み等があれば。
- ・ 自然豊かで農業に向いている。
- ・ 自然を生かした農作物が多い。
- ・ 自然豊かであり、田んぼなど土地を有効利用している。
- ・ 自然豊かな耕作地で栽培。
- ・ 自然豊かな場所で農作物が作れる。
- ・ 人間が自然と共に生きることを実感できる。
- ・ 豊かな自然で育てられているところ。
- ・ 自然に恵まれているので、種類豊富で安全で美味しい。
- ・ 山とびわ湖が近く、常に冷たくてきれいな水で育った野菜や米が生産できる。
- ・ 自然がゆたか。水がきれい。排気ガス等人工的なものにかこまれていない。
- ・ 豊かな自然で育った農作物。
- ・ 豊かな自然の中で四季の移り変わりを感じながら生き物と共生し、農業(米作り野菜作りなど)が美しい里山だった。
- ・ 山が多く自然環境に恵まれている。
- ・ 山と湖に挟まれた環境。
- ・ 雄大な自然の元、豊かな水を蓄えて伸び伸び育つ稲穂や野菜たちの逞しさ。先達が守ってきた農業の逞しさ。これからも、大切に繋げて行って欲しいと想います。

【米】

- ・ お米が美味しい。
- ・ お米が特に美味しいと感じる。
- ・ お米が有名。
- ・ 極早生やおいしいお米を作っている。
- ・ お米(近江米)が美味しいので、減反を減らして消費者に買いやすい価格で販売して頂けると有難いです。
- ・ 米作りの農地が多く、おいしいお米が収穫できることだと思います。
- ・ 米や果物のイメージしかない。道の駅で新鮮な野菜が売っていておいしそう。
- ・ 米。ただ、農家にとっては現状の米政策は厳しい。
- ・ 様々な農作物が豊富であり、米も等級(一等米比率)が高いので自信を持って販売できる。(以前、他県の方が高島市朽木の米をよく店に買いに来られていた。一度、食べてもらえればリピーターになってもらえる品々だと思う。)湖西は水がきれいなので安心感がある。

【農家】

- ・ 今はまだ米農家が頑張って米を作っている所です。
- ・ 熱意を持って、一生懸命に栽培されている農家がいること。
- ・ 比較的 生産者がたくさんおられ、道の駅等でも安価で購入が可能。
- ・ 米不足でも、身近にお米を売ってくれる農家さんがいてよかった。農家さんがいてくれること。
- ・ お米を育てている人が多いことと、野菜を育てることができるスペースが確保できること。
- ・ 米作り、野菜作りをしている人がいて農地があるのはいい。でもこの10年20年で畑があってもそれを利用して自作している人は少なくなったようでさびしい。
- ・ 農家間でのつながり、または農家と一般人のつながりが良好である。
- ・ 先祖代々の土地を守る感覚がまだ残っていて、兼業でも農業に携わる方がまだおられる印象です。年配の方やリタイヤした方が家庭菜園をする割合も高く、しかもとても上手です。近所の方から野菜をいただきますが、私はあんなに上手に作れません。とても立派な技術です。もっと今の高齢者の方から農業のノウハウを学び伝える場と、家庭菜園規模でも売れる場がないものかと思います。A コープで地場の農産物を売ってますが、数は少なくとも珍しい物や、普通なら捨てられる B 級品や、宝探しみたいな地場コーナーがあってもいいと思います。

【景観】

- ・ 稲作で言うと高島は湖東ほどの広大な田があるわけではないが、近くに山々が迫っているので景観や棚田などの魅力があると思います。
- ・ 山と琵琶湖に囲まれた懐かしい山村風景が残る田園風景。
- ・ 田園風景はきれいなので好きです。
- ・ 田園風景がきれい。農業されている方の笑顔。おいしい野菜。
- ・ 風光明媚、自然豊かなところで農業が出来る事。

【美味しい】

- ・ 高島市の農作物はとても美味しくて、スーパーで買い物ができなくなります。お米も高島市内の米穀店で購入していますが、新潟魚沼産に引けを取らないくらい美味しいです。
- ・ 高島の米、野菜はおいしいと定評がある。
- ・ 果物、野菜など、何より味が美味しいです。
- ・ 他県にはない物とか美味しいものがあると思います。
- ・ 味が美味しい。都会に比べて安価。米などが入手しやすい。

【生産者・消費者が近い】

- ・ 高島市内で生産、販売を行う。
- ・ 自身の地域内で作成したものを食べられることが多いところ。
- ・ 地元産の農作物が食べられる。安心な野菜が作られている。
- ・ 地産地消が可能で作物の安全が確認できる。
- ・ 産直で安心安全な生産性。
- ・ 新鮮な野菜が近くで購入出来る。作成者の顔が見える農産物。
- ・ いちごやスイカを作られてる農園で直接買って、生産者さんの話も聞けて楽しい。身近に思えるし、また買いたいと思う。
- ・ 道の駅などでは生産者の表示もあり(なんなら顔も出る)、車で走れば田んぼや畑が広がり、風景が素晴らしい。
- ・ おいしいお米や野菜を作っておられる方が、身近におられること。道の駅などで、新鮮な農作物が販売され、手に入りやすいこと。
- ・ 身近にあって美味しい。
- ・ 身近に新鮮な野菜が買えること。
- ・ 身近な場所で農業体験ができる。
- ・ 身近に畑がいっぱいあるので、野菜と季節感が一致する。
- ・ 農作業が見えて安心感がある。
- ・ 作っている人がわかるから安心。
- ・ 消費地が地元や近県にあり何でも栽培して出荷できる。

【新鮮】

- ・ 野菜や果物が新鮮でおいしい。
- ・ 新鮮な野菜を手頃な価格で販売されている。四季折々の珍しい野菜を栽培されている。
- ・ 新鮮でおいしいものが食べられる。
- ・ 鮮度、味わい(美味)景観も美。
- ・ 高島市に移住して 3 年過ぎました。葉っぱ付きの大根、採りたての野菜、果物が魅力的です。そして緑豊かなところも多く、とても季節感があふれて癒されます。
- ・ 新鮮でおいしい野菜、果物が道の駅や直売所で購入でき、他府県にいる子供や孫たちに贈ると喜んでくれる。
- ・ できる限り人為的な部分を取り除き、自然環境を活かした新鮮な野菜を作るところ。

【他】

- ・ 今までにない新しい農産物の取り組みは素晴らしいものがあり、土地もたくさんあり、これからが楽しみです。
- ・ 扇状地を利用した果樹栽培や新たな作物への挑戦がなされていること。給食にも地元の農作物が使われていること。お米はとても美味しい。
- ・ 安全安心の食べ物であること。
- ・ 安心安全で豊かな生活環境が維持できる。
- ・ 安全でおいしいこと。
- ・ 琵琶湖に近いこと。
- ・ 収穫体験型観光農園がある。
- ・ 安定した気候。
- ・ 空気の良さ。一度都会には出たけど空気が合わなかった。
- ・ 食生活に必要な普通の野菜なら、大体採れる地域。なのでそれが良いのでは無いでしょうか。「〇〇(地域名)の〇〇(農産物)」といった特産品と同様の価値があると思います。
- ・ 標準的な気候で、幅広い品種を栽培できる。。
- ・ マキノ地域は、意外に野菜や米は自給自足をしているお家が多いものの、従事者も高齢化が進み、特に田んぼは他の人に頼んでいる方々が多くなってきているけど、やはり、自然環境(水なども含む)が良いので、野菜も米も本当に美味しいと感じます。
- ・ 自給自足してる年配の方が周りに多いので学べる機会はあると思う。
- ・ 自給自足で食料確保。
- ・ どの道の駅に行ってもとても良い品物が売られていて、美味しいです。
- ・ 道の駅にいくといろんな種類の野菜がおかれている。スーパーでは取り扱いがないものも多いので、多種多様な野菜作りが行われていることは魅力に思う。
- ・ 柿の生産量が多いこと。
- ・ 地域ごとに特徴がある農産物を生産しているところ。
- ・ 恵まれた土地、いちじく、柿などの名産品がある。
- ・ 設備が行き届いているので、水不足の心配がない。＝安定(出荷、収入)
- ・ 土地が広いので(休耕田も)、やろうと思えば何でも出来る可能性がある。また、空気も水も綺麗なので、上手に PR すればブランド化できるのでは。
- ・ 誰でも始められる。
- ・ 収穫時の達成感、働き方の自由度の高さ。
- ・ 栽培している作物の種類が豊富であることです。

高島市の農業の課題

193 件の意見や提案が寄せられました。
要約した内容については以下のとおりです。

【担い手の確保・育成】

- ・ 後継者の育成。
- ・ 後継者の確保。できれば地元の若い世代の農業に対する関心と、彼らに安心

して農業に従事できる安定した資金の確保が喫緊の課題だと思います。

- ・ 農業に携わる人が減少している。もう少し農業の良さをPRして他県からも人員を増やしていかなければいけない。
- ・ 遊休農地の活用と新規生産者の参入障壁が課題かと。例えば、県大などの農学部系の未来のある生徒に対し、市の公務員として安定した身分と、初期導入設備等の支援などを提供し、さらに遊休農地を市が買い上げ、そこを公務員身分である農家が、安定した立場で安心して有機栽培に取り組む。そしてそこで育った有機作物を市内の学校給食で提供する。有機作物を食べて育った次世代の人が、さらに有機作物の普及に貢献する。こういったサイクルのスキームができれば良いなと個人的には思います。(予算も年数も、さらに専門職の枠も追加する話なので、抜本的な改革が必要かもしれませんが)
- ・ 後継者不足。大学進学率が高まる中、進学後農家に戻ってくることは少ない。兼業でなく、大きく出荷出来るものが欲しい。
- ・ 後継者問題、並びに 買取金額だけで判断し民間に米をはじめとする農産物を流出してしまう事。
- ・ 後継者不足、手間と高価格の農機、365 日の手間。昔からの好きな人(米作り)から次世代へその思いだけで受け継ぐ人いない。毎月の安定収入と余暇の時間を求める時代になっている。
- ・ 人手不足、高齢化、不安定。
- ・ 人手不足、農家の高齢化。土地があっても作れる人がいないとよく聞く。
- ・ 農業の担い手が高齢化していて、若い世代の人が少ないように思う。耕作放棄地や休耕田が増えているように思う。
- ・ 農業の担い手不足。生産力が小さい。儲からない。
- ・ 担い手不足 ⇒ 労力に見合う対価が得られない。二重価格になっている米作オンリーでは農業は成り立たない。
- ・ 農業に携わる若い人たちが増え、高島市でしか味わえない野菜や特産物がもっと出来る事。
- ・ 農家が使っていない土地であっても手放さないの、大規模化などができない。
- ・ スーパーで高島市以外の県内野菜より同価格で販売できるか。
- ・ 担い手、流通、市のサポートの無さ。
- ・ 農業の担い手の少なさと、都会から米を買いにきて地元の方々が購入できなくなっている現状をどうにかすべき。目の前の利益だけで動いてる人が多くなっていて、契約しているにもかかわらず契約して確保している分も売り飛ばしている者もいる。そういうことが起こらないために、しっかりと農業でも利益が取れるよう、システムを構築すべきではないかと思います。
- ・ 農業関係者の不足及び耕作放棄地の増加。田に水を確保するために農業用水路及び生活水路をせき止めるため、豪雨時に氾濫する。
- ・ 後継者不足、遊休地の増加、害獣などによる被害。
- ・ 担い手不足と耕作放棄地の増加。(私の所有する農地も間もなく耕作放棄地になるかも)
- ・ 自然豊かで田んぼが沢山あるのに、農業の担い手が少ないので、特に若い人に農業に興味を持ってもらえるようにする必要があるのでは。
- ・ 若者が少ない。
- ・ 若手の担い手がいらない。

- ・ 将来の農業の労働者不足が深刻な問題です。
- ・ 人手不足で将来が心配なこと。
- ・ 生産者の増加、広大な自然を生かす。
- ・ 担い手不足が心配である。

【高齢化】

- ・ 米農家さんが高齢者になり、辞めてしまうことです。
- ・ 地元の農業の担い手の高齢化、後継不足。転入者も含めて、若い人達が給料や休みがきちんと取れるようなシステム、団体で米作りや野菜作りが続いていけば良いと思う。
- ・ 高齢者が米作りをしているが、早く若者に引き継ぎしていくようにする。高齢者は「自分はこうしてやっていた、こんなやり方はおかしい。」などと、若者にはおしつけずに、自分のやり方でやってもらう。高齢者はできないのだから。
- ・ 農業従事者の高齢化。農業のみで、生活が成り立たない現状。
- ・ 生産者の高齢化による後継者不足。農用地とその関連施設の老朽化に伴う生産性の低下。
- ・ 農業従事者の高齢化と担い手がいないことで農業人口が減ること。
- ・ 農業従事者が安定した収入を得られるような施策。農業の担い手高齢化で減る、耕作放棄されている農地の増加。地球温暖化により虫や獣害問題。
- ・ 山間地が多い高島市では、耕作面積が小さい田畑が多いので、農業従事者が高齢化してきた現在、大規模農業にしていくのにも問題があると思います。
- ・ 高齢化による人材不足が問題。バブル以前に都会の人が買われた土地が廃地になっています。シカ、サル等の害も考えてほしい。
- ・ 少子高齢で担い手不足で休耕日の増加。
- ・ 生産者の高齢化。荒田や草まみれの畑が目立つ。体力的な問題で辞めていく人をたくさん見てきた。若い担い手がいない。
- ・ 農業者の高齢化、遊休農地の増加。
- ・ 米作農業者の高齢化で耕作できていない日が増えている。担い手をどうして増やしたら良いのか。
- ・ 顔見知りにも農作業をしてもらっているが、高齢になって、あと数年でやめられると思われる。
- ・ 農家の高齢化が進み、近所の田んぼでも耕作されず、草が伸び放題の荒れ地が増えてきていること。

【耕作放棄地】

- ・ 年々耕作放棄地、遊休農地が増え、鹿や猿の食害も増えて、住民の高齢化も進み、自慢の里山の手入れが難しくなっています。
- ・ 政府の減反政策によって農地が少なくなり、荒れている。また、従事者の高齢化、機械、肥料等の高騰によって米のコストが上がるのは当然と思うが、この1年多くの人が米のありがたさ、大切さを考えたのではないだろうか。米の価格が生産者に届くようにしてほしい。
- ・ 耕作放棄など空いている土地に米や野菜を作って輸入に頼らなくても良いように国の自給率を上げてほしい。
- ・ 田があっても自分では耕作出来ないので、今は大農家に耕作をお願いしている現状。また、荒れた田も目に見えて増えている。今後の担い手の不足が大きい。

な課題である。

- ・ 農作放棄の増加と太陽光発電の増加と外国人による無計画な開発等による地域への悪化を懸念する。
- ・ 耕作放棄地や田畑を宅地に行っている業者がいること。農業に携わる人が減っていること。学生さんにももっと関わってもらった方がいい。座ってする授業よりもっと体験型の授業を！

【PR、発信】

- ・ 販売網などの流通に関する魅力発信能力、ブランド力の低さ。
- ・ 発信力、注目度 up、集客。
- ・ まだまだ他県にPRが足りていない。(他地区)うちの職場の広報紙で、管内(高島市以外)の方にPRすることにより、販売につながってきているので、高島市としても大々的に市外、県外にPRしてほしい。
- ・ 毎回道の駅で野菜などを購入するのですが、他府県からのお客さんが多いと思います。お客さんが多いという事は良い農作物が販売されてると思っていますので、高島で作られた農作物をもっともっとPRして行って欲しいです。
- ・ 高島農産物フェア(祭りみたいなもの)で農産物を身近なものに。
- ・ 年に1度ぐらい大規模な農業祭、食の祭典を催す(高島市主催)。テレビ局、ラジオ等のメディアとタイアップ。
- ・ もっと農業、作物のイベント等して盛り上げて行ってほしいです！

【経営】

- ・ 放棄耕作地を無くしていくとともに耕作地の集約化を図り、コスト的にも魅力ある農業生産地であることの演出をしていくこと。
- ・ 継続性。大規模農業の不足。
- ・ 需要と供給のバランス、生産者が生産に対して苦しまなくて済むような取り組みが必要。
- ・ 農業でどれくらい稼げる等の説明会などあれば参加してみたいと思う。
- ・ 農業で生計を立てようとすると難しいこと。若い人が後を継ぎにくいところ。
- ・ 輸送が不便で、京都の農家の下請けのように扱われているのは不公平と思います。

【金銭面】

- ・ 経済面の課題、初期投資の課題。
- ・ 現状として農家はもっと進められるべきだが、土地、金銭的な問題から、気軽に挑戦できない。
- ・ 採算がとれる農業であって欲しい。
- ・ 稼げない農業でしょうか… 高齢化もありますが、お米は大規模、効率経営にシフトすべきです。この先も酷暑が続くなら、バナナとかコーヒーマンとか栽培出来るんじゃないでしょうか？マンゴーやアボカドは？オリーブを最近栽培されているのはとてもいいと思います。若い人が農業やりたいと思うためには、やっぱり稼げる農業しかないと思います。ついでに…せっかく琵琶湖もあるので、漁業も何か出来ませんか？ウナギやエビの養殖とか？
- ・ 安定した収入確保。
- ・ 人工減少、人手不足の中、大型の機械化(キャビン付き)の導入は費用効果の

面でどうか。

- ・ 農業は重労働の割に収入が少ない。
- ・ 生産コストの上昇、適正な価格での販売の必要性。消費者への理解促進。
- ・ 若者の減少、農業による収入が低いことなどによる担い手不足。

【補助】

- ・ 農業に携わる方の負担ができるだけ少なくなる工夫の為、補助金等機械化をこれまで通り進めて頂きたいです。
- ・ 他の都道府県と比べても農業に関わる人は多い方だと思います。代々農業を家業としている所への続けられる様な施策や、新たに始めようとする人達の支援等が増えることや周知が必要なのでは。(昨今あった米不足は良い喚起)
- ・ 有機農作物を販売(道の駅)されているのか分かりませんが、お米は食したことがあります、大変おいしいです。(炊くと光っています。) 農業をする若い担い手を育て、収入が安定するように、補助する必要があります。

【特産品がない】

- ・ 特産品が乏しい。
- ・ 年中農産物の贈り物が注文できるようにする。名物がない。PR と販売方法をわかりやすくする。ネットや、電話注文できる環境を整える。
- ・ 特産品が少ない。農地が小さく、大規模化に適していない。
- ・ アドベリー以外高島名産がない。農地法や雪の多さで若者が働きやすい農業ができにくい。

【他】

- ・ 行政とJAの対応力の深化。
- ・ 天候と獣害の共存を考えること。
- ・ 果物(例えば風車メロン等)数量が少なく購入期間も限られている。
- ・ 野菜作りはゆっくりやっているが猿に全部食われてショック。猿対策をしっかりやってほしい。一度に10匹くる。
- ・ 若者が就農出来る環境の整備、既得権益の再考。
- ・ 収穫量が少ないことと、後継者不足。
- ・ 栽培量と種類が少ない。
- ・ 現状 安心して農業で生計は立てられるのか。有機農業では、収量が上がらない…などの問題は無いのか。知らない事が多い。
- ・ 自分で作る畑の土にどんな肥料を使っていいかいろいろと研究中です。
- ・ 中山間地域が多く、国の進めている地域計画ではかえって高島市の衰退に拍車がかかるように思います。 有機農業に力を入れるのなら小規模農家に力を注ぐ政策が重要と思います。
- ・ 使わない、跡取りのいない田畑の住居地化や太陽光パネルの設置。
- ・ 土地の無料貸し出し。
- ・ 土地が平坦なところばかりではなく機械が入れない小さな田んぼもあり、田んぼを集約して大規模にやろうとしても効率が悪い。
- ・ メガソーラー等で山や田畑の土地がどんどん売られてしまい、農地の減少や環境への影響が懸念されるところ。高島の土地をもっと積極的に守っていくことが必要と思います。

- ・ 田んぼからの排水が地域を流れる河川から琵琶湖へと続いているが、農薬の影響を気にしている。以前、市の担当者に、近隣の河川に田んぼからの油分が浮いているので問い合わせたが、問題ないとの回答だった。しかし、明らかに色のちがう油膜が張っているし、今でもたびたび近所で目にするため、環境汚染を心配している。
- ・ 高島市をあげて農業の将来にもっと目を向けて、ここの土地の風土に合う高島ブランドを作り、全国にアピールを目指す。そして豊富で充分生活が出来る状態の絵を示すことが必要と思う。
- ・ 若い人の時間があまりない。関心もあまりない。
- ・ 若者の離郷率の高さ。感心の低さ。

⇒問 19 の課題の解決に向けて、あなた自身ができることは何ですか。

144 件の意見や提案が寄せられました。
要約した内容については以下のとおりです。

【地元産を購入】

- ・ 高島市で作られたものをできるだけ多く購入し、食卓にのせたい。
- ・ 高島産の作物を購入して、他者にアピールすること。
- ・ 道の駅などでの作物を購入し、口コミでの良さの拡散。
- ・ 出来るだけ地域の物を食べる。子どもにも農業を身近に感じさせる。
- ・ お手伝いはできないけれども、高島で一生懸命作られている作物をどんどん購入して食べる。
- ・ 道の駅なども利用するが、もっと高島の野菜を積極的に購入していきたい。イベントなどで直売とかしてたら買う機会も増えると思う。
- ・ 類似条件なら地元の野菜を買う。
- ・ 高くても安心安全な国内の野菜を買うこと。
- ・ オリーブオイルは地場の物を買います。この暑さではとても農業をしようとは思えなくて…。A コープのお花もとても素敵でお安いです。お墓参りには必ず買って行きます。高島のいいなをもっと発信できれば。
- ・ 地元産にこだわって、購入を続けること。クレソン、いちじく、柿など季節限定の物を地方への土産に買って、安くて美味しく鮮度がいいことを口コミで広めてもらう。美味しいものは、人を惹きつけるし〇〇を買いにこの時期に高島に来る人が増えると良い。

【自作、就農】

- ・ 農作物は購入するだけでなく、自分で生産することができるという認識をもつ。農家さんに任せず興味関心を持つこと。
- ・ できることは限られているが、自給自足の大切さを伝える。
- ・ 僕は両親が元気なうちに自給自足できるように習おうと思ってます。
- ・ 自分の家族が食べる野菜は季節に応じて作り食べるようにしていますが、それくらいです。課題の解決になってると思えないです。
- ・ 庭のちょっとしたガーデニングのようなものから始める。
- ・ 家族がしている農業を将来引き継ぐ。

- ・ 家庭菜園を続けて、ゆくゆく畑を手に入れたい。
- ・ 私が農業をする。
- ・ 私自身も、実家の田んぼを来年から始めてみようと考えています。(現在はアグリさん)そういう人が増えると、自分達でも出来るんだ！という事で色々な人に農業への興味が少しでも広がっていけばいいなと考えてます。

【関心、情報収集】

- ・ 農業の良さを知る。広げる。
- ・ 現状をもっと知り、ひとりでも多くの人が関心を持てるようそれを伝えていくこと。
- ・ 高島市の農業に関心を持ち、地産地消などを心がける。
- ・ コマーシャルに惑わされない。農業に対して自分の出来ること一歩ずつ。
- ・ 知ろうとする機会を増やすこと！
- ・ 他県に出向いて、その地の名物は何か、常に関心を持って農業者と話している。
- ・ 農業について知ろうとする事。
- ・ 類似地域の事例研究。
- ・ 私も農業を勉強して少しでも食料自給率を上げる。
- ・ 一般人でも農業について、勉強やお手伝いが出来る機会があったら参加したいです。
- ・ 時間があればセミナーへの参加など。
- ・ 農業への更なる理解。

【PR】

- ・ 農業の魅力をたくさんの人に知ってもらう。
- ・ 高島市の野菜、米を他県の人にアピールする。農業の良さをアピールする。(高島市は住みよいので農家に携わってもらえるようにPRする。)
- ・ 他府県の人への贈り物に、高島市の農産物を送りたい。
- ・ 農業に興味のある人を増やす。
- ・ 若者にも農業に興味関心をもってもらえるように都会の人に勧める。
- ・ 個人では難しい。市として農業委員会など様々の方面にまず活動して農業従事者以外に働きかけるべき??
- ・ 有機野菜の良さを周囲に広める。

【体験】

- ・ 少しでも手伝いや体験をし、楽しさを発信する。
- ・ 祖父母が農業をしているので、居場所づくりと掛け合わせて何かしてみたいと思いますが、何から手をつければいいのかわかりません。例えば、障がい者などの活動の場のひとつとして、あるいは、子どもの農業体験として、そこから食や健康に絡めて保健師として生活習慣病予防などにつなげられないかなと。課題解決に向けては、気軽にボランティアなどあればしたいです。それができる仕組みづくりが必要だと思いますが。
- ・ 分からない。子ども達に農業を体験できる施設などがあれば、農業が身近になるのではないのでしょうか。
- ・ 子どもたちに農体験の機会を作る。食べるという事の大切さを学ぶ。感謝し

ていただく。

- ・ 農業に関するイベントに参加する。現場に入らないと分からないことだらけです。農業祭に参加して知る事。

【お手伝い】

- ・ 里山保全ボランティア活動。
- ・ 農業に関わったことがないのでボランティアなどあれば参加してみたい。
- ・ 知り合いのお手伝い。
- ・ 販売のお手伝い。

【管理】

- ・ 家の周辺の水路の清掃。
- ・ 現在 10 キロほど稲作を管理(農機具が無いので、親戚に田植えから刈り取りまで全てお願いしてるので水や除草など)いつまで続くか分からないがもう少し続けていけたらと思っております。
- ・ 近くで耕作放棄地を発生しないよう、努力している。
- ・ 親から譲り受けた田畑の管理をしっかり行う。
- ・ 難しい。自分の土地をまずは荒らさないようにすること。一度荒れてしまうと田や畑に戻すのはかなり難しい。
- ・ 農業を株式会社化または法人化して、資本を集めるためにお金持ちを呼び寄せる。売られている農地を宅地にさせないために、大量の休耕地や荒地を借りて、開墾する。

【地域参加】

- ・ 組合等の運営に関わること。
- ・ 電柵の見回り。
- ・ 品目毎に組合を結成し、大規模化で経営する。
- ・ 地域の活性化に協力すること。

【農地利用】

- ・ 土地の提供、生産までには時間がかかるかも？
- ・ 農地等をできるだけ同じ場所にまとめ、無償に近い方法で貸せるよう便宜を図る。
- ・ ひとえに大規模集約化。移動距離を少なくした田地の集約(行政施策にて)を効率化していかないと、今でも誰も受け手なしの田アリ。価値観の転換を計らないと持続不可。
- ・ ほ場整備を大型化にする。
- ・ 田を集積化し機械化を進める。農業法人化。ブランド化と広いアピール。

【他】

- ・ 規格外野菜を購入する。
- ・ 適正価格で生産物を購入すること。
- ・ 自然環境を大切に、無駄を無くすように毎日の生活を営む。物を大切にすること。

- ・ 若者に農業を継いでほしい。50 歳くらいまでのマッチングサイト。年齢にこだわらない。
- ・ 若者の農業者の応援。高齢者は若者のやり方に対して文句を言うのではなく、黙って見守る、自分も若い頃高齢者に言われて嫌だったのではないかな？ガンバレ若者、あなたたちが一番現状を理解している。
- ・ 個人としては現状維持ですが、国や市の後押しが重要と思います。インボイスも小規模農家にとっては厳しい制度。
- ・ 本業副業に加えて、家の用事や自身でも野菜を作っているため、そんな時間はありません。しいて言うなら、こういうアンケートで現状を市に伝えることでしょうか。
- ・ 近江牛のように、ブランドを確立したいです。京野菜を滋賀で作るのはもうやめましょう。
- ・ 私ができることは、システムの構築(販路も含め)とプロモーションや PR をして、高島市の農作物のブランディングをしっかりと揺るぎないものにしていくことではないかと。
- ・ 30 代後半から 50 代あたりの年齢層に向けて農業の従事者の募集をしたり、子どもたちに農業に興味を持ってもらえるようなイベントを開催していただきたいです。